

各位

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長 CEO 清明 祐子
(コード番号 8698 東証プライム)

11/19「いい育児の日」調査リリース —当社グループは7割が育休を取りやすい環境と回答、 男性社員も実際に7割以上取得—

マネックスグループ株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長 CEO：清明祐子、以下「当社」）では、11月19日の「いい育児の日」を前に、当社、マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）およびコインチェック株式会社（以下「コインチェック」）の社員を対象として育児休業（以下「育休」）に関する調査を行いました。その結果、上記各社においては男女問わず7割が育休を取りやすい職場環境にあると回答、希望する取得期間は1か月～1年以上と多様でした。

実態として当社およびマネックス証券の男性社員の育休取得率は70%、平均取得日数は46日、コインチェックの男性社員の育休取得率は83%、平均取得日数は107日という結果が出ております（2024年3月末時点、表1参照）。当社およびマネックス証券の取得者の中では、過去の取得最短日数は1日、最長日数は463日と、期間の長短を問わず、希望する日数が取得できる職場環境が実現できています。厚生労働省が2024年に発表した男性の育児休業取得率は、育児・介護休業法改正を受け、2023年度は過去最高の30.1%^{*1}でしたが、上記各社における取得率はそれよりも大幅に高く、ライフステージの節目でプライベートを充実させられる職場環境が整っていることがわかりました。

当社グループの行動指針に掲げている「公正であることを尊重する。多様な背景や考え方を尊重する。」ことの一例として、当社グループ各社の育児休業制度においては、男女共に取得の有無や期間は、本人の意思に任されております。本調査を通じて、育休を取得しやすい環境が整っており、また育休の期間には各自の意向が反映され、多様性があることがわかりました。これからも、多様な人材がキャリアとライフステージのバランスを最適に保てる環境づくりを目指してまいります。

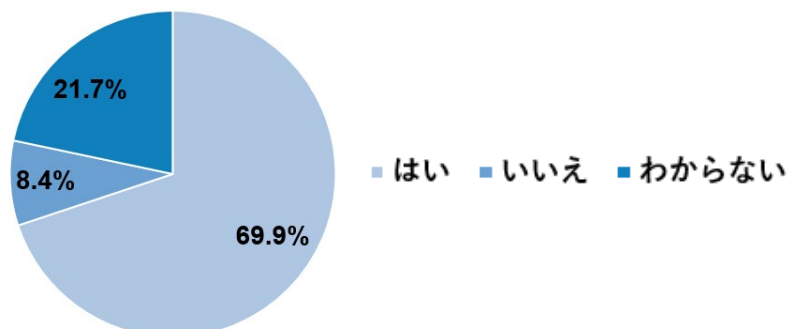
出典：^{*1}厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」P.18より
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r05/07.pdf>)

【調査回答者】

当社、マネックス証券、コインチェックの男女正社員83名
(男性：56名、女性：26名、回答しない：1名)
調査期間：2024年11月11日～14日

【調査結果詳細】

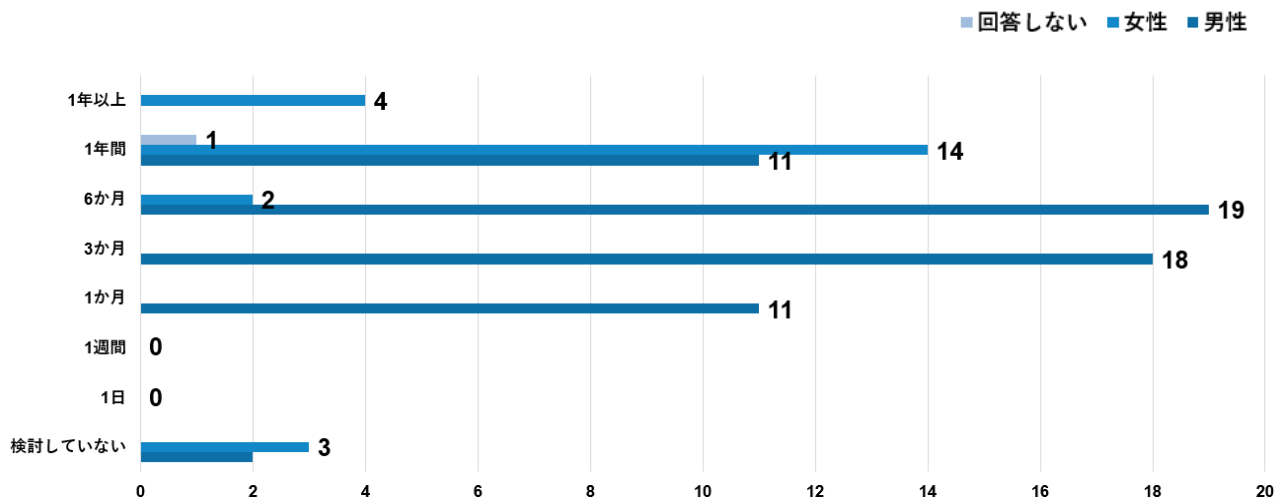
1. 当社は育休が取得しやすい雰囲気があると感じるか



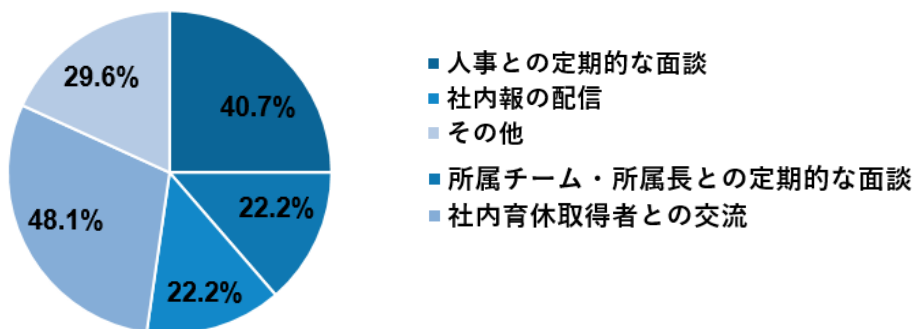
2. どのような後押しがあると育休が取得しやすくなると感じるか(自由回答)

- ・「育休を実際に取得してもキャリアには悪影響がなかった」、「取得したことで、より会社に対して貢献しようとポジティブに考えられた」など、安心感が持てる、復職後に活躍しているロールモデルの提示
- ・誰もが育休を取れるようにするために、業務の棚卸、リソースの拡充、標準化による属人化の解消
- ・女性の産褥期と言われる期間のパートナーの育休取得の義務化

3. どれくらいの期間、育休を取得したいか (単位：人数)



4. (育休取得者への質問、複数回答可) 育休中、どんなサポートがあるとありがたいか



(自由回答)

- ・育休中は隔絶されがちになりやすいため、メンターのような相談先や情報交換の機会
- ・福利厚生として育児から少し離れられる(一時)保育所やシッターの割引制度
- ・新生児がいる環境下では定期的な面談は負担となるので、必要に応じて連絡させてもらえる体制

表 1. 当社グループ育児休業取得実績(2024年3月末時点)

育児休業取得

	日本セグメント*	クリプトアセットセグメント
女性産休・育児休業復帰率	100%	100%
男性育児休業取得率	70%	83%
男性育児休業取得平均日数	46日	107日

※日本セグメント：
当社、マネックス証券
クリプトアセットセグメント：
コインチェック

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-3983

(株主・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698